

方自治体のドローンによる鳥類被害対策支援システム開発プロジェクト					
作成日:2018/06/11			作成者:平松勇輝		
カテゴリ	リスク内容	発生頻度	影響度	優先度	対応
人員に関するリスク	メンバのゼミ・ミーティングの遅刻	5	2	10	遅刻が分かり次第PMに連絡
	メンバのゼミ・ミーティングの欠席	4	2	8	PMに連絡の上、議事録などの確認
	交通機関の麻痺	4	2	8	余裕を持って行動し、遅刻が分かり次第PMに連絡
	メンバの死亡	1	5	5	担当教員に相談
	事故、病気などによる長期休学	2	4	8	ほかのメンバが作業を担当、または自宅での作業
	連絡不通、音信不通	2	4	8	連絡し、担当教員に相談
	情報共有されていない	4	3	12	メンバに報告し、GoogleDriveなどで共有
物的リスク	データの意図しない削除・故障	2	4	8	随時github、GoogleDriveなどでバックアップを取る
	無人航空機、センサーなどの破損	4	3	12	破損部品の購入、修理が可能な場合は修理を行う
作業リスク	作業の遅延	3	3	9	早めにメンバに連絡し、予定の調整
	作業が期限より早く完成	2	2	4	品質の向上、デバッグ作業に充てる
	作業報告の遅延	4	2	8	締め切り前日にメンバに確認を行う
	作業の停滞(技術面、環境)	2	3	6	ほかの技術の検討、使用、メンバと相談
品質	ルート作成処理の速度、精度	3	3	9	ほかの技術の検討、使用、メンバと相談
	操作性が悪い	2	3	6	ほかの方法の検討、実験ののち切り替える
	PCのスペック不足	1	3	3	ほかの技術、デバイスの検討
その他	ネタ被り	1	3	3	新規性を取り入れ差別化を図る
	役所など関連機関との連絡の齟齬など	2	3	6	問題が判明次第、担当職員と連絡をとり再度確認を行う
	飛行中の無人航空機が不慮の事故で死傷者発生	1	4	4	発生後即現場と連絡を取り適切な対応を行う
	クライアントからの機能追加、変更の要請	2	4	8	話し合いを行ったうえで機能の追加、変更を行うためのコスト・計画の再調整
発生頻度	発生確率のレベル			影響度	影響のレベル
5	ほぼ確実に起こる			5	プロジェクトの進行不可能、致命的な問題の発生
4	起こる確率が高い			4	プロジェクトの品質が著しく低下する
3	どちらともいえない			3	プロジェクトの進捗が著しく遅延する
2	まれに起こる			2	プロジェクトの品質が一部低下する
1	非常にまれに起こる			1	プロジェクトの進捗が遅延する、軽度の問題の発生
優先度	優先度 = 発生頻度 * 影響度				